



※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2024年10月28日

# CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 10/18-10/25)



	週間	月間	YTD
<b>VN指数</b>	<b>-2.55%</b>	<b>-2.73%</b>	<b>10.87%</b>
<b>VN30指数</b>	<b>-2.73%</b>	<b>-2.00%</b>	<b>17.15%</b>
<b>VN中型株指数</b>	<b>-1.61%</b>	<b>-3.76%</b>	<b>8.13%</b>
<b>VN小型株指数</b>	<b>-1.47%</b>	<b>-2.45%</b>	<b>1.40%</b>

先週のVN指数は1285.46ポイントから1252.72ポイントへと2.55%の下落となりました。先週は米景気の底堅さや米大統領選の不透明感などを背景に米長期金利が上昇いたしました。通貨ベトナムドンが米ドルに対して下落したことから、ベトナム中央銀行が公開市場操作による市中からの資金吸収を行う中、株式市場は下落基調となりました。

規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-2.73%と大幅な反落となりました。一方、中型株指数が-1.61%、小型株指数が-1.47%と、それぞれ下落を続けております。

	週間	月間	YTD
<b>為替レート</b> (ドン対円レート)	<b>0.47%</b>	<b>3.28%</b>	<b>2.57%</b>

通貨ベトナムドンにつきましては、米長期金利の上昇などを受けて、米ドルに対して下落いたしました。ドル・円相場も日米金利差が意識され、ドル高・円安が進むこととなりました。週間では、ベトナムドンは円に対して+0.47%と上昇に転じております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	<b>-3.0%</b>	素材	<b>-2.5%</b>
不動産	<b>-1.5%</b>	公益事業	<b>-1.9%</b>
生活必需品	<b>-1.8%</b>	エネルギー	<b>-2.1%</b>
一般消費財	<b>-1.0%</b>	情報技術	<b>-2.3%</b>
資本財	<b>-1.0%</b>	ヘルスケア	<b>0.6%</b>

セクター別に見ますと、9セクターが下落いたしました。特に左上の金融が-3.0%と大きく反落しております。また、その右の素材が-2.5%と続落いたしました。一方、右下のヘルスケアが+0.6%と続伸し、ディフェンシブ性を示しております。



銘柄名[ティッカー]	騰落率	銘柄名[ティッカー]	騰落率
ベトナム乳業（生活必需品）[VNM]	+0.9%	ベトナムゴム工業グループ（素材）[GVR]	▲10.0%
		ベトナム国際銀行（金融）[VIB]	▲6.4%
		サコムバンク（金融）[STB]	▲5.9%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、ベトナム乳業のみが+0.9%と上昇いたしました。

一方、下落銘柄はベトナムゴム工業グループが-10.0%、中堅民間銀行のベトナム国際銀行が-6.4%、大手民間銀行のサコムバンクが-5.9%とそれぞれ反落いたしました。

### VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は下落しましたが、足元までの7～9月期の企業決算を見る限り、業績は前年同期比で堅調な増益を示しております。今国会ではルオン・クオン国家主席が選出され、「四柱」と呼ばれる権力バランスを重視した集団指導体制が維持されたこともポジティブと考えられます。

一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10.4倍と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上